



# 居留地会議

THE FORMER FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE



写真提供/さくら銀行

## アーバンリゾートフェア神戸'93に向けて 「旧居留地まちづくり宣言」

旧居留地連絡協議会では、アーバンリゾートフェア神戸'93に先がけて、昨年10月29日、神戸市代表の方々をお迎えして、まちづくりへの新たな決意表明を行いました。会場は、大丸南側にこの日復元完成した近代洋風建築の前。

旧居留地地区では、この建築復元につづき、重要文化財旧居留地十五番館(ノザワ)の復元、朝日会館の建設など、大きなプロジェクトが続きます。この着々とすすむ旧居留地のまちづくりを、一連のものとして市民の方々にとらえていただき、神戸全体のみならず、神戸全体のまちづくりのなかで、この旧居留地が重要な役割を担っていることを広くみなさまに知っていただくことと企画されたものです。宣言では、日頃の私た

ちの地道な活動も紹介し、みなさまから拍手をいただきました。

宣言は朝9時45分より行われ、旧居留地連絡協議会を代表して山本副会長が宣言(宣言全文を2Pに掲載)。つづいて来賓代表、神戸市小川助役より旧居留地連絡協議会への期待の言葉を頂戴し、セレモニーのテープカット。テープカットは、来賓を代表して小川助役、旧居留地連絡協議会からは、山本副会長と田代代表幹事、旧居留地連絡協議会の女性を代表して、ノーリツの多田まりさん、さくら銀行の藤原浩子さん、オリエンタルホテルの永井敦子さんで行いました。

なお、神戸市から出席いた

だいた主なご来賓の方々は次の通り。(敬称略)

神戸市助役 小川卓海、都市計画局長 廣戸敏夫、都市計画局計画部長 鶴来紘一、市民局長 東村衛、住宅局長 伊藤雄三、住宅局参与 大海一雄、住宅局建築部長 垂水英司、アーバンリゾートフェア事務局長 下村繁弘の各氏。

### 「写真と絵でつづる神戸ハイカラ物語展」開催

アーバンリゾートフェア神戸'93の一環として企画されているアーキテクチュアフェア KOBEのプレイベントが当会主催の「写真と絵でつづる

神戸ハイカラ物語展」。

「旧居留地まちづくり宣言」にあわせて、10月29日から2週間にわたり7つの会場で開催いたしました。各会場テーマは次の通り。

ノーリツショールーム NOVANO 「スポーツはじめ物語」、ジーニアスギャラリー 「神戸今昔・名所絵と写真」、大丸 「開化あれこれ商売絵図」、大丸カーポートギャラリー 「昭和10年ごろの神戸のまちなみⅠ」、さくら銀行 神戸本部ビル 「昭和10年ごろの神戸のまちなみⅡ」、ノザワ本社ビル ギャラリーNo.15 「錦絵・みなと神戸の暮あけ」、オリエンタルホテル 「居留地オリエンタルホテルと昭和10年ごろの神戸のまちなみ」



## 花のプロムナード構想、咲く。 3月末までに30地点で新たに飾花。

アーバンリゾートフェア神戸'93に向けて旧居留地として取り組む飾花計画が、着々とすすんでいます。約240基の飾花が新たに旧居留地に彩りをそえます。飾花は、床置き型のプランターが、209基。壁掛け型が24基。壁から突き出してつり下げるハンギング型が6基。飾花工事は現在、急ピッチですすめられ、3月末には完成の予定です。

そこに働く人、そこを訪ねる

人、花は道ゆく人にうるおいとやすらぎを与えてくれます。諸外国のホッとするまちは、そこが業務地であってもたいかい花があります。

今回はアーバンリゾートフェア'93の一環として、飾花計画をすすめています。これをきっかけに、開港当初、この居留地が外国人たちの間で東洋一美しいと形容されていたように、ふたたび、美しさで評判になって欲しいと願います。

このたび飾花を新たに計画されているのは次の通り。旧居留地東北から、高砂商行、神戸市民生活協同組合、兵庫クレジットサービス、日本銀行神戸支店、南、神栄、農林中央金庫神戸事務所、華東聯合、入江ビルディング、神戸市立博物館、オリエンタルホテル、珍々堂、神港ビルディング、神栄石野証券、興和不動産神戸支店、平和不動産神戸支店、同和火災海上神戸営業所、東神ビルディング、日本毛織、ダイヤモンドビル不動産、明海興産、兵庫県農業会館、NTT神戸

支店、ノリツ、大丸神戸店。一事業所で数カ所の飾花もあり地点としては30カ所になります。

## MEMORANDUM MAY.1992—DEC.1992

- 5月20日 第7回ゴルフコンベン  
センチュリー吉川
- 6月 6日 プロムナードコンサート  
OSAKA BASS PLAYERS
- 9月 3日 「旧居留地グリーン作戦」
- 9月19日 プロムナードコンサート  
神戸山手女子中学・高等学校  
マンドリン・ギター部
- 10月 3日 プロムナードコンサート  
小林若夫とルッキング・サン
- 10月24日 プロムナードコンサート  
甲南大学応援団ブラスバンド
- 10月29日 「まちづくり宣言」  
「神戸ハイカラ物産展(11月3日まで)」
- 11月 3日 プロムナードコンサート  
関西学院大学吹奏楽部
- 11月10日 第8回ゴルフコンベン  
加西カントリー倶楽部
- 11月20日 「居留地倶楽部」開設
- 12月11日 忘年会 花隈 上伊
- 12月20日 クリスマスコンサート  
「第九交響曲」演奏会
- 12月25日 旧居留地十五番館、完工式

### 〔都市景観条例に基づく届出を〕

神戸市では、昭和58年に旧居留地地区を都市景観形成地域に指定しています。当地区内において建築物などの新築・増築・改築・移転・除却・大規模の模様替・外観を変更することによる色彩の変更等を行う場合には必ず届出を行って下さい。また都市景観に関するご相談についてもお気軽にお越しくださいと思います。  
問合せ先：神戸市役所都市計画局  
アーバンデザイン室景観係  
TEL.078(331)8181 内線4533

## 「旧居留地まちづくり宣言」 —アーバンリゾート都市・神戸の中心地として—

旧居留地の歴史は、今から120年あまり前の慶応4年(1868年)の神戸港開港に始まります。その後、明治32年に返還されるまで外国人による自治が行われ、西欧文明の窓口となった彼らの活動は神戸市民に大きな影響を与え神戸の発展に大きく貢献してまいりました。

居留地が日本へ返還された後も貿易商社や船会社・金融機関が建ち並び、神戸のみならず、日本の外国に対する窓口として戦前・戦後を通じ発展してきました。

こうした歴史的背景を経て、現在の旧居留地は当時の地番126番の区割りをそのままに、当時の都市計画の先進性を物語るとともに、その都市基盤の上に今また新しい神戸の都市景観が形づくられつつあります。

昭和53年に制定された都市景観条例にもつき、昭和58年に『旧居留地地区』として神戸市から景観形成地域の指定を受け、『賑わいと風格のある伝統的な町並みの形成』を基本方針に、着実な歩みを続けているところであります。また、昭和60年には当旧居留地連絡協議

会に対して景観形成市民団体の認定を得ています。

今回、神戸市は新しい時代に向けて、これまでのまちづくりを継承し更に発展させて、すべての人が住み続けたい、また訪れてみたいくなる魅力あふれるまち『アーバンリゾート都市』を目指し、平成5年には『アーバンリゾートフェア神戸'93』を開催されようとしています。昨年の年頭所感で神戸市長がこの考え方を提唱された時、当協議会が行ってきた様々なまちづくりの取り組みが間違いでなかったと同感の意を強くしたものであります。

早速、昨年6月には『アーバンリゾートフェア神戸'93』に向けて旧居留地を考えるシンポジウムを開催し、フェア成功に向けてスタートを切りました。また、協議会内部にアーバンリゾート推進委員会を設け本格的な取組みに至っているところであります。

神戸市とタイアップして『アーキテクチャフェア』や『タウンギャラリー』を推進するほか、建物の窓辺・敷地を花で飾る運動を展開してま

います。また、これまで実施してきた『プロムナードコンサート』の充実をはじめ『グリーン作戦』の実施など、『アーバンリゾート都市・神戸』の中心地としてふさわしいまちづくりを行ってまいります。

『アーバンリゾート』とは『活力ある都市生活の中で人間性の回復を求めて行くこと』といわれていますが、当居留地はまさに『来訪者にとっては日常性のあるリゾート空間』であり、『働く者にとってはリゾート性のある日常空間』であるといえます。

そうした意味で、旧居留地が果たす役割は大きく、『アーバンリゾート都市・神戸』の先駆けをきって旧居留地のまちづくりを会員の総意を結集し、フェア93を記念して、さらに未来にむけて進めてまいりたいことをここに宣言します。

平成四年十月二十九日  
旧居留地連絡協議会会長 野澤 太一郎



写真提供/株ノザワ

## 神戸最古の洋風商館、 旧居留地十五番館、復元完成。

89年に重要文化財の指定を受け、翌90年から修復保存工事にとりかかっていた株ノザワの旧居留地十五番館は、修復を終え、昨年12月25日に完工式を行いました。

110年前の木骨れんが造りのため、土台の腐食が激しく、建物をつり上げ土台も替えてゆくなど、工事はきわめて大がかりなものとなり、工事に要した期間は33か月。屋根瓦をふき替え、一部の柱を補強、さらに木の床や2階のバルコニーを復元、外壁も塗り替え、建築当時の姿そのものに。また内部の装飾や間取りもこの工事にともない細部にわたって配慮されており、居留地時代の様式が再現されています。工事にともない、天井裏に呼び鈴装置がとりつけられていたこと、暖炉の金枠はアメリカ製、タイルはイギリス製などと欧米の材料が使われていたことなど、居留地時代の新しい発見もありました。

なお、旧居留地十五番館は本年4月8日にレストランとして一般に公開される予定です。



## 「まちかどウォッチング」 に協賛。

11月8日(都市計画の日)開催。旧居留地のスタンプチェックポイントは、さくら銀行前。当会では今回もホテル券、レストラン券、テレホンカードの当たる独自の抽選も実施して協賛しました。

## 「クリーン作戦」に 約100人が参加。

「私たちのまちは、私たちがきれいにしよう」との呼掛けに旧居留地連絡協議会会員の中から約100人が集まり、9月3日、早朝より2時間半にわたって、ゴミ拾い。地区全体に散らばっていたあき缶やたばこの吸殻などを一掃。晴天の残暑の厳しい中、汗びっしょりになっての大掃除でした。

(写真は島田安親、真下典夫両氏)

## 今年度も数々の賞を受賞。

### ■建設省より 都市景観大賞、受賞。

良好な都市景観形成に寄与した地区を表彰しようと91年度より創設されたのが都市景観大賞です。都市景観100選部門で、行政・地元の活動が認められ神戸市旧居留地地区として表彰されたもの。表彰は、都市景観の日(10月4日)をまえに、10月2日、日比谷公会堂で行われ、建設大臣より神戸市長に表彰状が贈られました。

### ■神戸景観ポイント賞、 今年度は、ニッケが受賞。

神戸らしい都市景観に寄与した建物に贈られる神戸景観ポイント賞を、10月15日、ニッケ神戸本店アネックスショップが受賞。質感のあるファサードと品格のあるショーウインドー、ヴォリューム感のある植栽により、旧居留地のまちなみとの調和が評価されたものです。

### ■神戸ショーウインド コンテスト'92開かれる。

神戸都心地域を対象に10月9日から11月9日まで行われたコンテストで、旧居留地からは銀行、ショールーム、ブティックなど43地点が参加。アーバンディスプレイ大賞は大丸、特別賞は、安田信託銀行神戸支店、日本興業銀行神戸支店、東海銀行神戸支店、ポールスチュアート神戸店、エトロブティック、ヴァレンティノ・ガラバーニブティックが獲得。なお兵庫銀行は市民投票獲得数第3位に輝きました。

「居留地倶楽部」オープン。

昨年11月20日、念願の旧居留地連絡協議会のオフィス兼親睦サロンが大丸カーポート7階に誕生。12席の大きなテーブルは、会のミーティングや、連絡文書づくりに、またちょっとした親睦にと、多目的に使えます。ファックス、コピー機、冷蔵庫も完備。ご利用の方は、大丸カーポート1階受付にお申し出ください。

■利用時間 9:00~21:00  
■電話 332-0151  
■ファックス 332-0052



## 第九交響曲演奏会 に聴衆600人。

12月20日、午後4時から、さくら銀行で開催。今回は地域文化の発展と音楽の普及を目的として指揮者武田博之の元に結成されたニューフィルハーモニー管弦楽団による演奏。ソプラノ安保淑子、メゾソプラノ

竹本節子、テノール山本裕之、バリトン田中勉4人の独唱者が豊かな歌声を披露しました。当会からは、武田則明氏をはじめ、約80人が参加、高らかに「歓喜」を熱唱。

ロビーには家族連れやカップル600人の聴衆でぎっしりでした。この模様はサンテレビで放映されたほか、新聞各紙でも大きくとりあげられました。

# A HISTORY OF THE FOREIGN SETTLEMENT ⑨

開港から50年を綴ったジュビリー・ナンバー翻訳

## 「神戸外国人居留地」復刊。

初期の居留地資料をお探しの方に吉報です。3月下旬に「神戸外国人居留地」の本が復刊されます。この本は現在の旧居留地のさまざまな開発にたずさわった方々の間にも、評判の本でバイブルとして読まれていたものです。「神戸」がいかに生まれたかは、この本を抜きには語れません。

「神戸外国人居留地」はジュビリー・ナンバー1868-1918の翻訳です。ジュビリー・ナンバーは、居留地の英字新聞社ジャパン・クロニクルが居留地誕生50年を記念して1918年に発行されたもの。居留地のなりたちを、当時の居留地に住む外国人の側から描いた貴重な資料です。

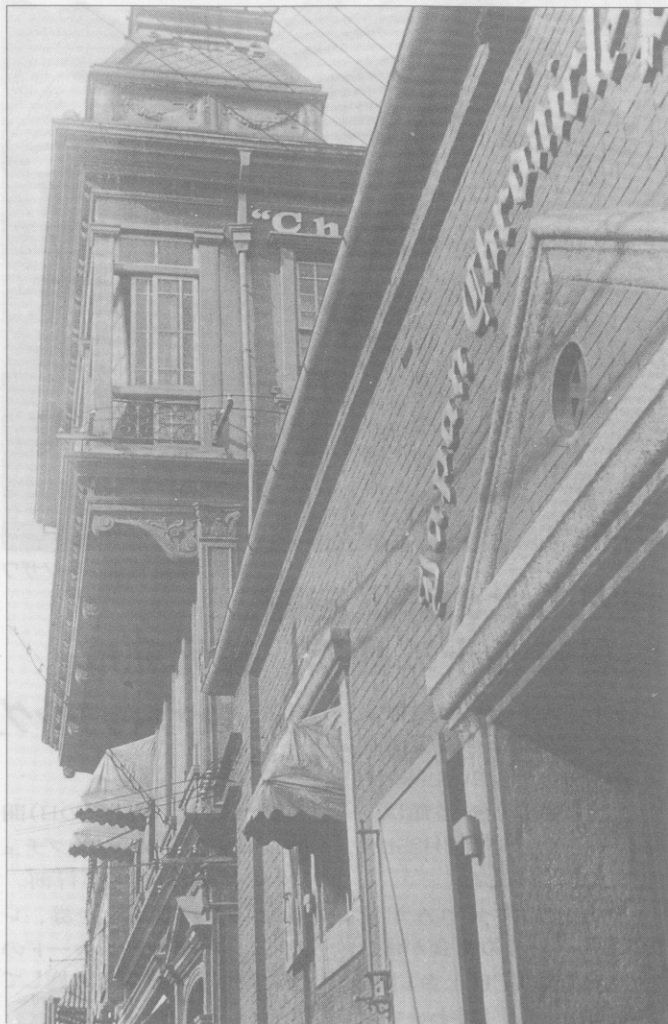
居留地の場所が決定した経緯をはじめ、日本に返還された時のことなどが豊富な資料を使って、外国人による自治行政を主体にまとめられています。

そのまま現在に受けつがれている居留地の番地、通りの名前が決まったJ.W.ハートの居留地設計図のこと。今回のアーバンリゾートフェア神戸'93で公開される、そのころす

に完備されていた居留地の下水道のこと。キリスト教やミッションスクールの始まり。英国から入ってきたスポーツのこと。ウエスタンやグルーム、A.C.シムなどの活躍も書かれています。

また巻末に収録されている居留地で暮らしていた人たちのエピソードにも興味深いものがあります。たとえば、神戸郵船ビルのところにあったホテルに、居留地でも美人と噂の高いふたりの姉妹がいたこと、また居留地の怪盗をどう捕まえたかの話など、読むとますます居留地のことが知りたくなってきます。神戸の人みんなに読んで欲しい一冊です。

「神戸外国人居留地」は、医業のかたわら居留地史を研究していた堀博氏が翻訳をはじめ、土居晴夫氏がまとめたものをさらに小出石史郎氏が改めて訳出、三人の意見が一致したものを決定稿としたもの。神戸新聞出版センターからのじぎく文庫として1980年に発刊され、しばらく絶版になっていたもの。今回は判型も大きくなったので復刊です。



■写真は、ジャパン・クロニクル社屋(年代不詳)  
〈写真提供：南俣佐久間泰夫氏〉

居留地の本は居留地で！  
「神戸外国人居留地」  
発売中1,500円(税込み)  
■大丸6階書籍売場

## 旧居留地連絡協議会会員

- 朝日ビルディング神戸支店
- 朝日生命保険相互会社神戸支社
- 千代田火災海上保険神戸支店
- 中央興業(株)神戸出張所
- 第一 珍 々 堂 楼
- 第一ビルディング神戸事業所
- 大 広 神 戸 営 業 局
- 大 協 殖 産 業 (株)
- 大 丸 神 戸 店
- 大 神 倉 庫 (株)
- 電通神戸ビル管理事務所
- 同和火災海上保険(株)神戸支店
- 大 日 産 業 (株)
- ダイダ(株)神戸支店元町事務所
- 大 清 産 業 社
- 平和不動産(株)神戸営業所
- 北 斗 電 設 (株)
- 社団法人兵庫県農業会館
- 兵庫県信用保証協会
- (株)兵庫銀行
- (株)兵庫クレジットサービス
- 入江ビルディング(株)
- 兼 松 (株)

- 川崎汽船(株)神戸支店
- 関西電力(株)三宮営業所
- 関西電産(株)神戸営業所
- (株)華東聯合有限公司
- (株)建隆エステート
- 社団法人神戸銀行協会
- 国際電信電話(株)神戸支店
- 神戸ビル管理(株)合
- 神戸貿易協同組合
- 神戸生糸取引所
- 神戸市民生活協同組合
- 神戸市立博物館
- 神戸市信用金庫
- 公共建物(株)神戸事務所
- (株)近藤商商店
- 興和不動産(株)神戸支店
- (株)鴻池組神戸支店
- 関西殖産(株)神戸事務所
- 財団法人神戸市都市整備公社
- 神戸ミノルタ事務機(株)
- 松岡不動産(株)
- 松下電器産業(株)
- 明海興産(株)
- 南 (株)

- (株)三菱銀行神戸支店
- 三菱信託銀行(株)神戸支店
- 三井海上火災保険(株)神戸支店
- 日本銀行神戸支店
- 日本毛織(株)
- (株)日本長期信用銀行神戸支店
- 農林中央金庫神戸事務所
- (株)ノザワ
- NTT神戸情報システムサービスセンター
- NTT兵庫ネットワークセンター
- N T T 神 戸 支 店
- (株)西日本銀行神戸支店
- (株)ノーリツ
- (株)オリエンタルホテル
- (株)大林組神戸支店
- (株)ポールシュアート・ジャパン
- 菱光証券(株)
- 星光ビル管理(株)
- 神 港 栄 (株)
- 神 港 ビ ル デ ィ ン グ (株)
- 商工組合中央金庫神戸支店
- 商船三井興産(株)神戸事務所
- 住生ビル管理(株)
- 三 共 生 興 不 動 産 (株)
- (株)塩田商
- 神 栄 石 野 証 券 (株)
- 三 機 工 業 (株) 神 戸 支 店

- (株)さくら銀行神戸総務部
- さくらカード(株)
- (株)さくらケーシーエス
- (株)鈴ヶ江商
- (株)泰神殖産
- (株)泰和実業
- (株)高砂商
- (株)東海銀行神戸支店
- 東京海上火災保険(株)神戸支店
- 東神ビルディング(株)
- (株)武田設計
- (株)安田信託銀行(株)神戸支店

(1993年3月現在、88社)  
●名簿はA B C順。

**新 会 員 募 集**  
●入会のお問合わせ、お申込みは  
神戸市中央区京町79 南(株)  
TEL.078(331)3345  
  
旧居留地連絡協議会  
神戸市中央区江戸町91(出)神戸銀行協会内  
TEL.078(331)2761